

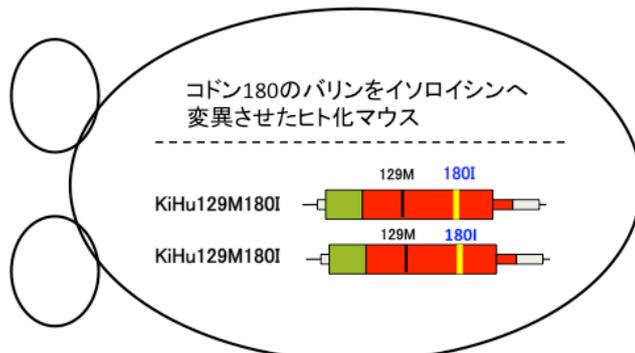
## わが国最多の遺伝性プリオン病V180Iはヒト化マウスに伝達しない

研究分担者: 東北大学医学系研究科病態神経学分野 毛利資郎

### 1. 遺伝性プリオン病V180Iのヒト化マウスへの感染実験成績

接種材料\マウスデータ	KiHu129MM		KiHu129VV		KiHu129MM・219K	
	感染頭数 /接種頭数	観察日数	感染頭数 /接種頭数	観察日数	感染頭数 /接種頭数	観察日数
Ak180I	0/5	746,769, 812.812, 812	0/6	563,612, 740,780, 812,812	0/5	546,614, 650,740, 812
Mi180I	0/4	447,725, 745,812	0/4	725,812, 812,812	0/4	504,539, 740,752

### 2. 遺伝性プリオン病V180Iモデルマウスの作成



### 解 説

1. わが国の遺伝性プリオン病で最も数多く報告されているV180Iの変異をもつプリオン病はヒト化マウス(KiHu129M, KiHu129V, KiHu129M・219K)に伝達(感染)しなかった。
2. V180Iの変異をもつ遺伝性プリオン病ヒト化マウスを作成した。
3. この遺伝性プリオン病ヒト化マウスに遺伝子変異による自発性の異常プリオンたんぱく質の産生は認められなかった。